

日々の帳簿付けで目標を明確に

SOBA 暫

代表者 山下 沙知恵 業種:飲食業(蕎麦店)
定休日 火曜日・水曜日 営業時間:11:00~14:00
Instagram @shibashi1800
住所 松本市大手3丁目3 縄手通り商店街入口



信州にこだわった蕎麦

「いつか蕎麦屋を出したい」という夢が叶ってから約1年が経つ。店主の山下さんは飲食店に勤める家族の影響で10年程前から蕎麦打ちを趣味で始め、縁があってなわて通りの入口が空き店舗になる事を知り、念願の蕎麦屋をオープンした。開店にあたっては自分が一番おいしいと思っている蕎麦屋で修業をし、蕎麦も修行した蕎麦屋から仕入れている。

なわて通りという観光客が多い立地柄のため「信州を盛り上げたい、知ってもらいたい」と松本近郊の食材にこだわり、安曇野のわさびや山形村の山芋などを使用し、つゆも無添加で手づくりをしている。

そばには並々ならぬこだわりがあり、おいしい素材をどれだけ自然のままでよりおいしくさせるかを追求しているためメニューも蕎麦の風味とつゆの味を味わってもらうためにシンプルにしている。コロナ禍を経て人との触れ合いの大事さを再認識した山下さんはお客様との会話を大事にし、感謝を伝えるようにしているという。素敵な人柄も相まってオープンして間もないが観光客だけでなく常連客も増え始めている。



山形村で取れた長芋
名物とろろそば

夢の創業

山ノ内町から移住して松本市に住み始めた当初に松本のことを知りたい！なぜ松本に観光客がくるのか？という思いから当所へ来所し松本のことを知ることから始めた。その後は松本で創業したいと何度か相談に来所した。継続的に当所へ訪れるようになったのは現在の場所で創業することが決まってからとなる。徐々にオープンが現実となっていく中で必要な書類や創業までにやるべきことをお伝えし、試行錯誤しながらも無事に開店した。

わからないことは放置しない

順調に営業が進んで行く中で、帳簿の付け方が分からないという問題が発生し、一から当所で記帳指導をすることになった。まずパソコンに「弥生会計」ソフトを入れてもらい、日々の帳簿を当所で販売している「日計帳」につけてもらうことから始めた。



券売機を使うことで
事務作業の軽減にも

最初は現金と預金の流れや勘定科目など分からないことだらけであったが、分からないことがあるたびに担当職員と電話や対面でやりとりし、すこしずつ知識の基礎固めをしてきた。弥生会計ソフトも自店に合うように細かい設定を何度も行い、簡単かつ正しい帳簿づけが行えるようになっていった。分からないことを放置せず、日々の取引を毎日つけたことで初めての確定申告時でもスムーズに行うことができ、現在は数字をみて今後の目標設定が考えられるレベルにまでなった。会計ソフトは e-TAX と連動しているためマイナンバーカードとスマホを使って青色申告の特典の 65 万円控除も簡単に取得し、節税にもつながった。

支援を受けて

店主の山下さんは「一から分からなかったが、相談して帳簿をつけることで数字を把握でき目標も立てやすくなった。」と語ってくれた。

（経営指導員：上水結貴）